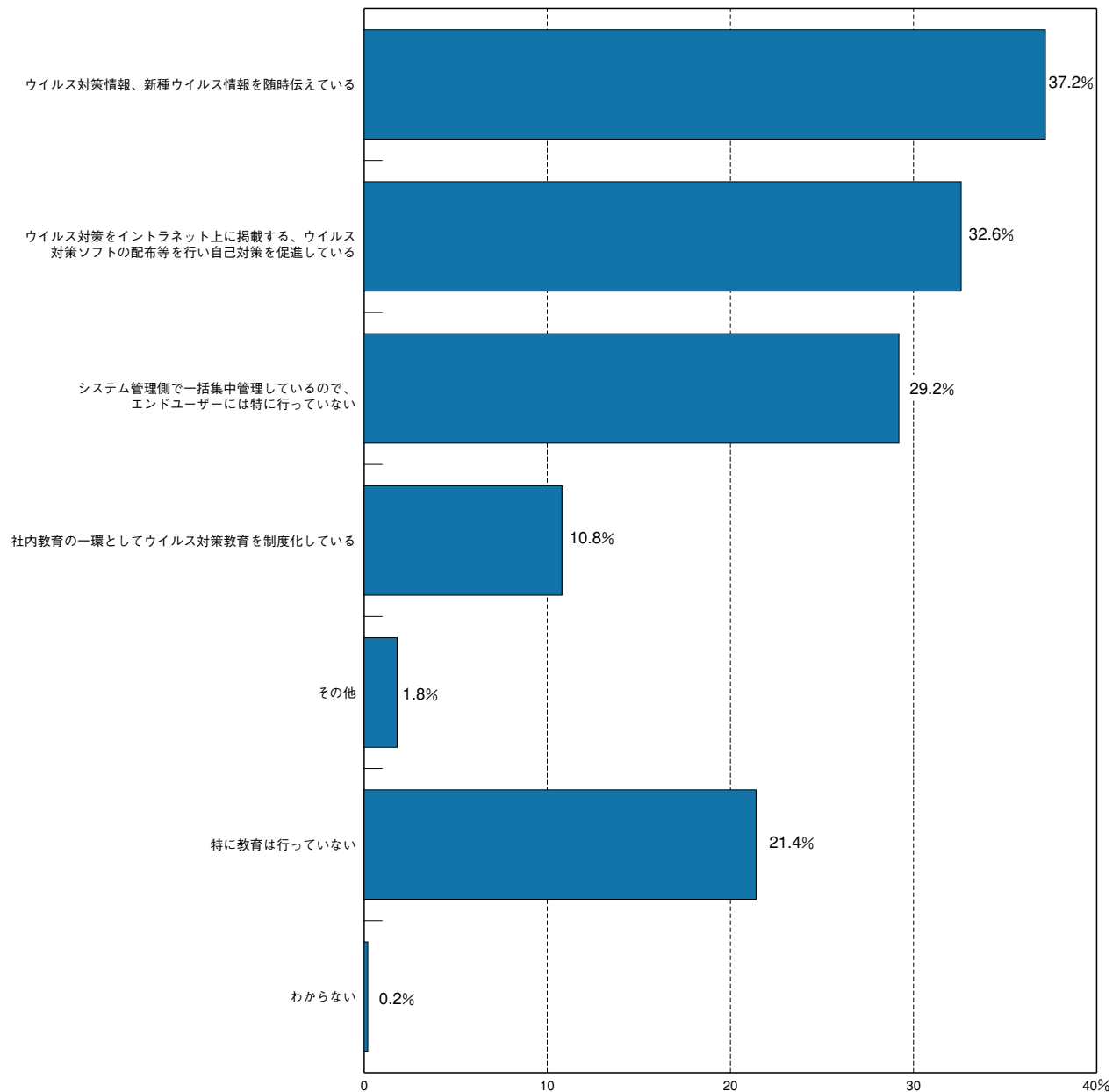


【コンピュータウイルス】

約半数がエンドユーザーに対する教育を行っていない

資料4-4-9 社員へのウイルス対策教育の有無 N=818



社員へのウイルス対策教育に関しては非常に寒々しい結果が出た。「システム管理側で一括集中管理しているので、エンドユーザーには特に行っていない」と「特に教育は行っていない」を合わせると、約半数の企業がエンドユーザーに対する教育を行っていないということになる。管理者側だけで何とかなるといふ過信は危険だ。

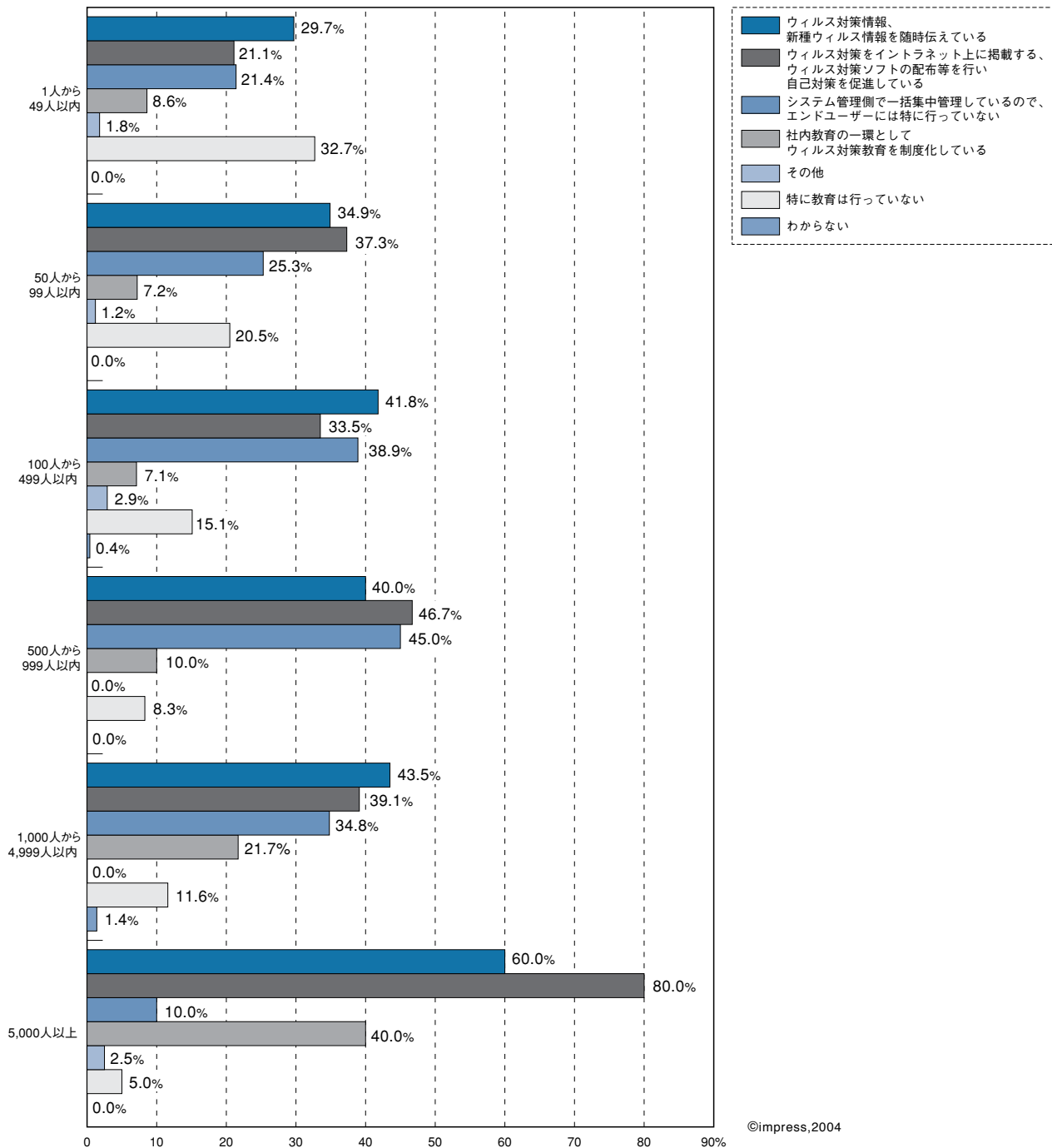
©impress,2004

コンピュータウイルス

従業員数5,000人以下の企業の対策は不十分

資料4-4-10 従業員規模別 社員へのウイルス対策教育の有無

第4部
企業利用動向

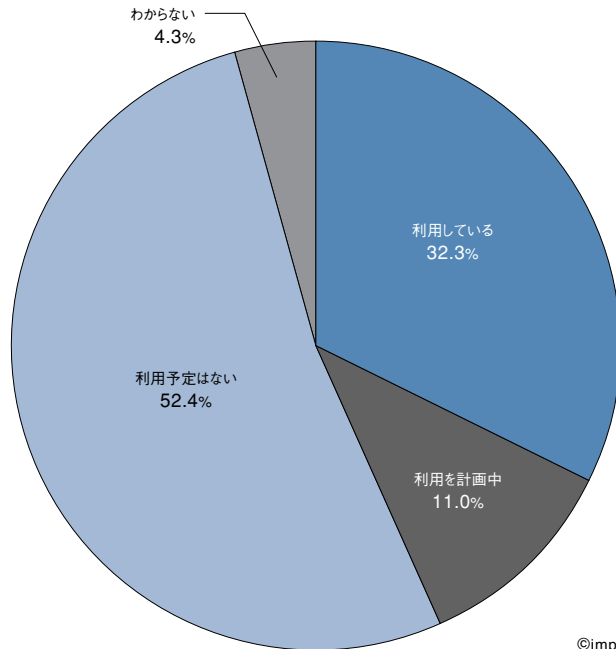


前項の質問に対する回答を従業員規模別に見たものである。従業員数5,000人以下の企業については大きな懸念が残る。ウイルスファイアウォールのような製品を導入していたとしても、完全な保護を提供できるわけではない。さらに、社外でインターネットに接続したPCを社内に持ち込む場合の対策はどうなっているのか。非常に危険である。

コンピュータウイルス

32.4%がウイルスブロックサービスを利用

資料4-4-11 ウイルスブロックサービス利用の有無 N=818

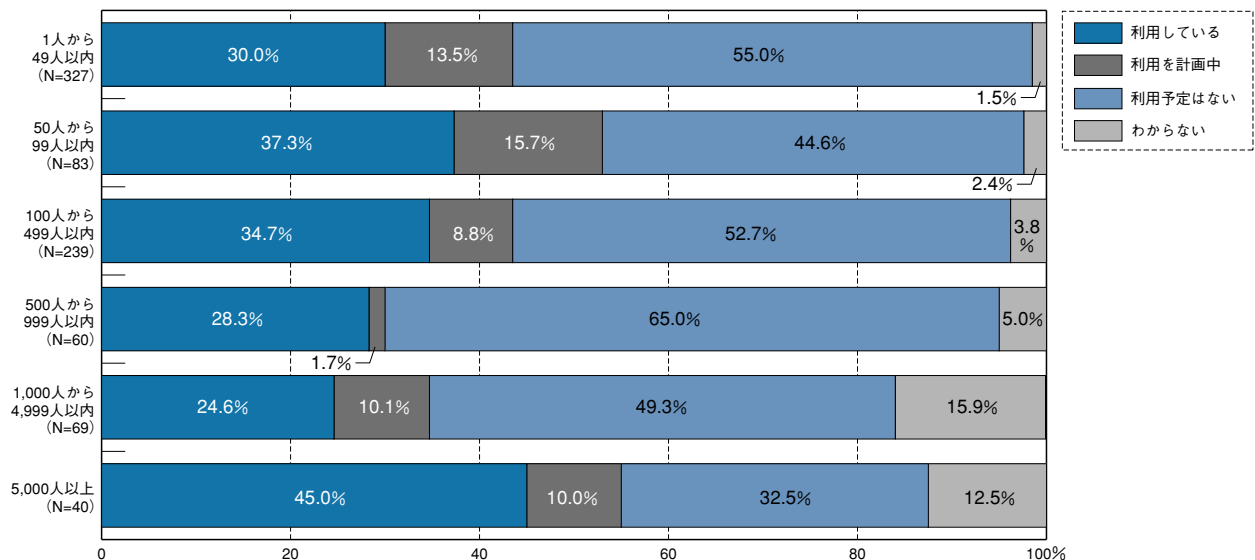


©impress,2004

ウイルス対策については、インターネット接続プロバイダーが提供するウイルスチェックサービスを利用してもよいが、自社でウイルスファイアウォールを運用するという選択肢もあるので、この問いに対する答えの比率はそれほど重要ではない。規模が小さめな企業では、ISPのサービスを使うほうが確実といえるだろう。

従業員数5,000人以上の企業が積極的な姿勢

資料4-4-12 従業員規模別 ウイルスブロックサービス利用の有無



©impress,2004

ウイルスブロックサービス利用意向を従業員規模別に見たものだが、ここでも従業員数5,000人以上の企業がこの種のサービスについても最も積極的な姿勢を見せている。より規模の小さな企業のほうがサービス利用に積極的であるべきだが、これら企業における全般的なウイルス対策についての意識の低さが反映された結果だといえる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp